

令和3年5月18日

ご利用者（団体）各位

独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立乗鞍青少年交流の家所長
徳永 章人

飛騨高山スキー場の現状について

日頃より、当施設の運営にご理解賜り、誠にありがとうございます。

飛騨高山スキー場の現状について「令和2年7月豪雨」により、飛騨高山スキー場の一部斜面が崩落し、リフト2基（高速ペアリフト（サンライズ）・もみの木ペアリフト）が使用不能となり、令和2年度は閉鎖をしておりました。

令和3年度につきまして、7月より「もみの木ゲレンデ・もみの木ペアリフト」の復旧作業を行い、リフト1基で運営する見込みです。

もみの木ゲレンデの滑走レベルについては、中級以上のため、初級者はスキーレッスンを1日半（4h～6h受講）した後、滑走できる斜面となります。

高速ペアリフト（サンライズ）（スキー場から交流の家に向かう唯一のリフト）については令和4年度以降に復旧作業を行う見込みであることから、今シーズンは飛騨高山スキー場から国立乗鞍青少年交流の家までの輸送手段について、シャトルバスでの運行をスキー場を運営する高山市とともに検討しております。

現状については以上となりますが、進展がありましたら、随時ご連絡いたします。

【問合せ先】

国立乗鞍青少年交流の家
事業推進室 事業推進係
TEL : 0577-31-1013
FAX : 0577-31-1025